

裁判員等経験者の意見交換会 開催概要

参加者等 裁判員経験者:4名(令和5年、6年に事件を担当)、藏本 匡成 裁判官(司会)
古田 孝夫 裁判所長(主催)、小澤 光 裁判官、中川 知三 検察官、松本 史晴 弁護士

裁判員経験者の声

全体的な感想・印象

- ・公訴事実から冒頭陳述の流れで、一言一言を拾い上げて調べていく行為が興味深かった。
- ・評議では、色々な考えを聞くことができ、人生観や価値観が揺さぶられるような時間を過ごせた。
- ・ミニ講義のように知識が得られる時間があり、分かりやすく、一つ一つ納得して進められた。
- ・ドラマで裁判のシーンがあると、これまでと違った視点で見ることができて楽しい。よい経験ができた。
- ・裁判の印象が180度変わった。裁判員になってみてよかった。

検察官、弁護人の訴訟活動や評議について

- ・用意された資料は、説明と相まって一つ一つわかりやすく作成されていた。
- ・評議室の中では、否定されることなく意見を聞いてもらえて、皆で時間をかけて話し合った。
- ・達した結論については、何も後悔はなく、皆で出し合った結果であった。
- ・自分の考えも見直したりした。皆活発に意見を出し合って、話しやすかった。
- ・証拠の写真は、もう少し他の部分の写真もあればよかった。

裁判に参加して感じたこと

- ・言葉一つ一つを考えて状況等を理解することを経験し、相手を理解しようと努めるようになった。
- ・自分の感情や思い込みにとらわれすぎずに、事実だけに向き合って冷静に考えることを学んだ。
- ・仕事をする上で、感情的にならずに冷静に対応するようになった。
- ・裁判官、弁護士、検察官がどういった仕事をしているのかを理解できた。
- ・意見を聞いて、自分の中に吸収してまた発言するというのは、自分の仕事にもプラスになると感じた。



これから裁判員になる方へのメッセージ



色々調べたりとか、勉強しようと思ったのだが、そういうことは一切しなくても大丈夫だよということを強く伝えたい。

役割がとても重いので、
勇気はあると思うが、すごく
自分のためになるし、自分の
人生に彩を与えてくれると思う。

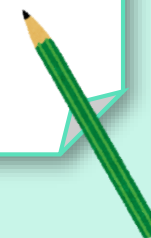
自分の仕事以外の仕事ができる
機会はまずないと思うので、裁判官
の仕事を学ぶ機会を得たと前向き
な気持ちで引き受けたらよいと思う。



心のケアとか、何か心配事があれば
相談に乗りますよということを、1週間に
2回くらいやってくれた。心配症の人
には、すごくよかったと思う。

今後自分の人生に確実に
プラスになると思うので、
心配せずに参加してほしい。

昼食をとりながら、皆で談
話したりして、楽しい時間も
あった。



報道機関からの質問

裁判員をやろうと思った判断・決断の決め手は？

職場の裁判員経験者が「絶対行ったほうがいいよ、何かプラスになることがあるよ」と肯定的な意見を言っていたこと。

事件について、報道を見たり調べたりしたのか？

予習することはせず、検察官が提出した証拠と、裁判官、検察官、弁護人の発言だけに集中するようにした。

